

TouchCore



Service Lineup 2024

合同会社タッチコア

「今の延長線上に未来はない」そうお悩みなら当社へご相談ください。

タッチコアの基本原則

「ヒト」「モノ」「カネ」を三大経営資源とし、経営者はこの資源を有効活用して企業の目的・目標を達成しようとしていました。

そこに「情報」を加えられ、四大経営資源であると言われ続けてもう30年以上です。

しかし、日本においては「情報」は他の経営資源と違い「使っても減らない」「価値を金額で測れない」といった特徴からなのか、他経営資源と比べ軽視されているように見えます。

一方で、デジタルトランスフォーメーション(DX)の時代に入り、ビッグデータ解析からイノベーションを生み出そうとマーケティング領域で情報を活用している企業も出現してきました。

当社のコンサルティング、アドバイザリーサービスの基本原則は、**情報を用いた経営のイノベーションを模索することから始まります。**

「情報」を利活用し、個のバイアスの下に意思決定されることを排除したり、新しい視点でのビジネス・アイデアを生み出すことに注力できることを目指します。

組織は正しい情報の流れをもってビジネスを展開し、経営者は質の高い「情報」で意思決定ができる。

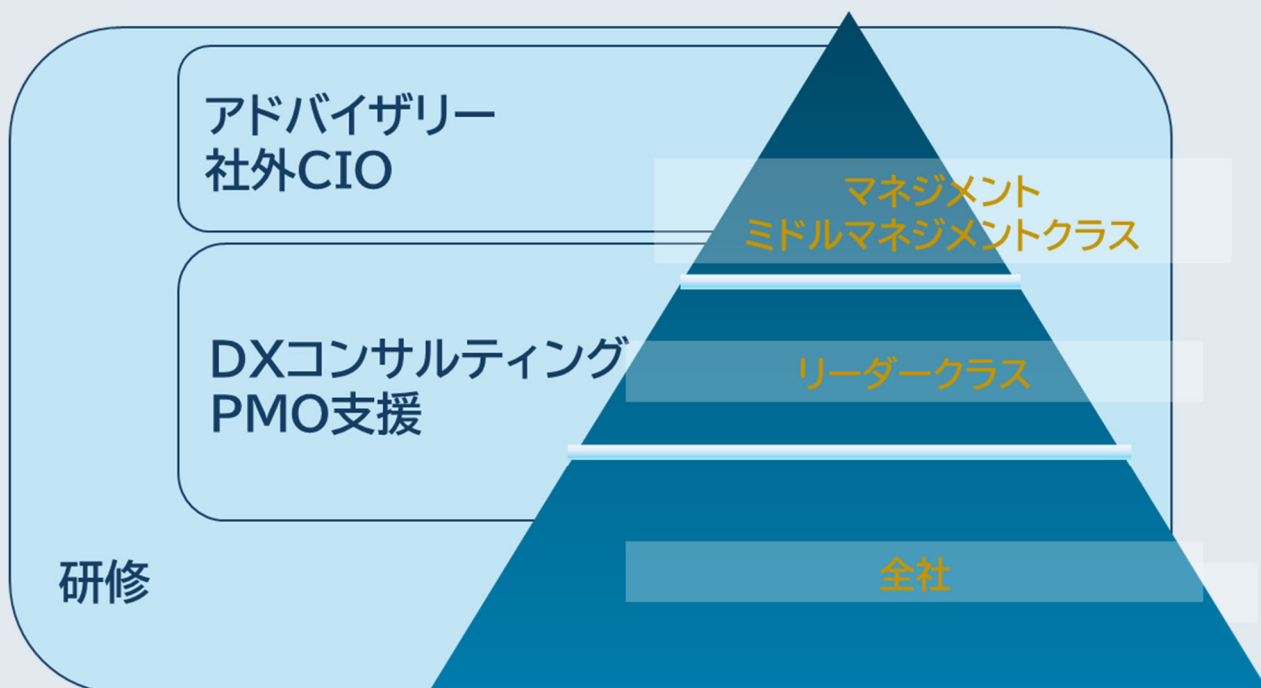
そのような**情報経営**の考え方でマネジメント・イノベーションをサポートします。

TouchCore

事業内容:

- 経営コンサルティング
- 人材教育(研修、講演講師、ワークショップの企画立案)

タッチコアのService structure:





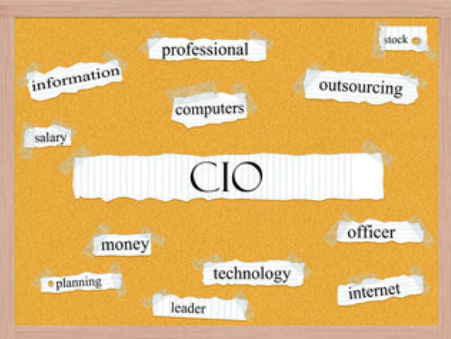
アドバイザーサービス

経営者・変革リーダーを対象としたサービスです。

重要な判断を担うマネジメントこそ、幅広い知見の取得、優良な情報、判断に資する情報収集を身に着ける必要があります。また、役割ならではの悩みも多く抱えます。

当社のアドバイザーサービスは、ご契約者(メンバー)のおかれた状況、期待値を充分お伺いした上で、成功に向けてサポートをいたします。

<p>エグゼクティブ アドバイザーサービス (年間契約)</p>	<ul style="list-style-type: none">・オンボーディング(開始時に1回)・ブリーフィング(1回/月、対面・オンラインは相談)・ご質問サービス(無制限、電話・メール)・ネットワーキングアレンジ (無制限) <p>*ご相談により、社内向け講座やワークショップをアドオンすることも可能です</p>
<p>DX・イノベーション創造 アドバイザーサービス (年間契約)</p>	<ul style="list-style-type: none">・DX、イノベーション創造活動へのアドバイスを 行います(2回/月、相談会)・各アイデアについて相談・進捗確認の場を設け、 コンサルタントの立場からアドバイスをいたします。 ディスカッションを継続して行うことで、アイデア 創出活動を活発にする土壌作りをサポートいたします。 (1回/2ヶ月、報告会)



社外CIO

IT部門の成長を促す、ビジネスITへの変革は内部人材だけでは立ちいかないことが実は多いのです。

コンサルティングを入れて提案を受けたとしてもそれが会社にとって妥当かどうかの判断、またその実践は列車を走らせながら線路を敷き変えるような複雑性があります。

当社は、豊富な経験を活かし、外部リソースならではの価値をご提供いたします。

社外CIOサービス (年間契約)

- ・ITガバナンスの構築に関するアドバイス
 - ・IT要員外部委託費用の見直しと改善アドバイス
 - ・IT部門の組織変革についてのアドバイス
 - ・経営に対するITバリュー(価値)の訴求
 - ・レポーティングラインを相談の上決定
- * 関与の仕方、社内在席時間・会議出席回数などをご相談いただけます



DXコンサルティング

DX推進の必要性は理解されつつも、日本の企業においては、今だ成功事例は少ない状況です。

DX推進部といった部署を設立しても、ツールの導入というIT化に留まってしまっただけでは、本来の目的は達成できません。

DXは単なるプロセスのIT化ではなく、テクノロジーやビジネスモデルを通じて「ビジネス価値の変革」を実現するものです。

ビジネス環境や目的に合わせた最適なDX達成をサポートいたします。

DXコンサルティング	<ul style="list-style-type: none">・契約期間:相談(6カ月~1年間)・支援方法:オンサイトまたはリモート・施策策定→推進体制検討→推進、フェーズに合わせたサポートも可能
------------	---



PMO支援

社内の、IT導入、ビジネスアーキテクチャに関連するプロジェクトは計画からベネフィット回収まで問題なく推進されていますか？プロジェクトの成否はPMに掛かっているといっても過言でもありません。しかし、多くのPMは様々な要因により案件の対応に苦慮しています。

PMが正しく機能するための仕組みがPMOですが、実はPMO設置・運営のプロフェッショナルは、実は数少ないのが現状です。当社では、正しくPMOを設置する方法のアドバイスから、正しく機能するようにPMOを支援します。

PMO支援

- ・契約期間:相談(PJ内容により)
- ・支援方法:オンサイトまたはリモート
- ・PMOの組織化、運営までアドバイス



研修

デジタルトランスフォーメーション(DX)、イノベーション、デジタル・ビジネスや、ビジネス・アーキテクト育成など、あくまで技術の取得ではなく、今、ビジネスに必要な知識・スキル取得のための講座を各種実施しております。

個社の課題認識、目的、対象(ロール)に応じて、座学・ワークショップ・オフライン・オンラインと形式も内容もカスタマイズした研修企画・実施も可能です。

研修を通じて、プロジェクトの目標達成や社員の能力向上をサポートします。

[適宜開講講座]

企画研修

(実施例:一部)

・マネジメント研修

担当する部署の目標達成だけでなく、自社の成長を意識して思考し、ビジネス提案・改善提案ができるようになることを目標として実施。

・事業本部BootCamp(合宿研修)

全社PJスタートを前に本部部長以上を対象に、プロジェクトの目的の理解、共有。

既存業務のバイアスを取り除き、プロジェクト推進・加速を目的として実施。

イノベーション創造(アイデア創出)講座

実は、正しい思考にはテクニックが必要ですが、学べる場所も限られています。

社会課題の本質を明らかにするというテーマに取り組みながら、アイデア創出のための様々なテクニックを学び修得を目指します。

中期的に広い視座を持つ人材の育成、リスクリング推進にも最適な講座です。

対象	<ul style="list-style-type: none">・ビジネス開発/企画を担当するリーダークラスの方・イノベーション推進を任されるリーダークラスの方・ビジネス・プロデューサー及びその候補者の方
期間/回数・時間	6か月間/15回×2時間
カリキュラム(抜粋)	<ul style="list-style-type: none">・内発的動機と言語化・課題のデザイン・ビジネスモデル・イノベーション(基礎知識/演習)
講座の目標	<ul style="list-style-type: none">・社会課題の本質を明らかにするというテーマに取り組みながら、アイデア創出のための様々なテクニックを学び修得する・講座終了までに新たな価値を与えるアイデア創出し、ビジネスに実装する計画を作成する

超短期DX講座

DX推進のためのスタート地点に立ち戻り、DXを正しく理解するためのポイントを2日間に凝縮した受講しやすい短期講座。更に有効な思考法とその活用方法を学べる講座です。

対象	<ul style="list-style-type: none">・他にもDXやイノベーションの講座を受けたことがあるがピンと来ていない方・DX推進部門に所属される方・事業企画立案に従事する方
回数・時間	全2回×3時間
カリキュラム(抜粋)	<ul style="list-style-type: none">・デジタル/DXとは何か・アイデアを発想するための方法
講座の目標	<ul style="list-style-type: none">・DX推進のためのスタート地点に戻り、正しくDXを理解し、そのための有効な思考方法を取得する

ビジネスアーキテクト(BA)養成講座

ビジネスアーキテクトは、経営戦略に則ってビジネスプロセス、業務手順を設計する役割を果たします。

ところが今までこの役割が日本で浸透していなかったために、様々な問題を引き起こしています。

特にITユーザー企業には必要なビジネスアーキテクトを養成に役立つ講座です。

対象	<ul style="list-style-type: none">・ビジネスアーキテクトが必要とお考えの企業様・企業情報システムの設計にお悩みの企業様 <p>*受講者は企業様に選出いただきます</p>
回数・時間	6-7カ月間/全15回×2時間
カリキュラム(抜粋)	<ul style="list-style-type: none">・なぜビジネスアーキテクチャが必要か・企業の基本構造・モデリング・業務を設計する
講座の目標	<ul style="list-style-type: none">・ビジネスの日常にある問題の本質を把握し解決するための考え方と手法を理解する・問題状況を判断し、状況に応じた適切なツールを選択し、解決に向け“ビジネスアーキテクトの視点”でアプローチできるようになる・解決策を自ら設計し、その実装を主導できるようになる・みんながより賢くなり続ける仕組みを、継続的に維持できるようになる

TDM講座

(Transform from Delivery to Management)

企業の情報システムの仕事は、「企画」「開発」「運用」の3分類です。しかし、現状は「運用」に明け暮れているのでは？

「現場で喜ばれている」が「経営にとって価値の高い仕事」とは限りません。

社内情報システム部門の仕事に、部内の社員も部外の社員も、更には経営も、それぞれ不満を持ってはいませんか？

本来、情報システム部門は全社を見渡せる位置に存在しています。正しいITマネジメントを学ぶことで、運用に明け暮れる情シスから経営に資するITを提供する情シスに変化することができます。本講座は、情報システムが変化するために必要な知識を、全般的学ぶことができる講座です。

対象	<ul style="list-style-type: none">・情報システム部の管理職・システム部の企画担当
回数・時間	全12回×2時間
カリキュラム(抜粋)	<ul style="list-style-type: none">・IT戦略 企画立案方法・デマンド、サプライ、コントロールの各視点とは・Project推進方法(PMOの正しい理解)・ITガバナンスと案件管理・IT人材とキャリアパス
講座の目標	<ul style="list-style-type: none">・企業情報システム本来の役割について理解する・情報システムの現状理解と将来について設計できる

DX ブートキャンプ

DXやイノベーション推進を支援するために企画されました。
ビジネス創造人材(DXビジネスプロデューサー育成を目的とした講座です

*主催:一般社団法人スキルマネジメント協会(SMA)*¹

*講師:タッチコア代表(小西一有)

対象	業種、職種問わずどなたでも受講可能
回数・時間	全15回×2時間
カリキュラム(抜粋)	ビジネス創造の基礎的な知識・スキルを身に着ける(初級)~DXを推進する為に具体的に何をすれば良いのかを学習(中級) ・トランス・フォーメーションするのは何か ・デジタル時代の顧客経験価値(CX)変革 ・デジタル・ビジネスモデル演習 ・DX 推進人材(当社に必要な人材を特定する)
講座の目標	・協会実施の認定試験に合格 *認定試験に合格された方は協会*1より「中級DXビジネスプロデューサー」の資格を認定

(*1)一般社団法人スキルマネジメント協会(SMA) <https://www.skill.or.jp/>

スキルマネジメント協会(SMA)は組込みスキル標準(ETSS)をベースに、人材育成、スキルマネジメント手法の開発、スキルの分析手法、経営指標としてのスキルの可視化などを行い、日本を中心に広く国際社会に貢献することを目的とする団体です。

タッチコアでは、カリキュラムに応じて最適な講師を適宜招聘しております。

コンサルタント・講師



合同会社タッチコア 代表

小西 一有 (Konishi Kazunari)

国立大学法人九州工業大学情報工学部 客員教授
同志社大学大学院生命医科学研究科 嘱託講師

前職の外資系大手ITリサーチ&アドバイザリ企業では、国内CIOに向け、経営とITとの関係、イノベーション、DX、企業変革における戦略、リーダーシップのアドバイザーとして10年以上のキャリアを持っています。

人材教育のプロとして活気あるインタラクティブな進行に定評があります。

招聘講師



株式会社eMu 代表取締役

上田 昌夫 (Ueda Masao)

総合電機・総合商社・テレビ局のシステム部門で全社PJを経験。

ベンチャーを経て、前職では医療系企業のIT担当役員として自ら企画した構造改革&機関システム構築PJを推進。

現在は、経験を基に「新しい企業情報システムの創り方」を展開し活動しています。

また、ビジネス・アーキテクト養成と、そのためのカリキュラム 構築にも力を注いでいます。

TouchCore

サービスのご利用

お問い合わせ・ご相談

info@touchcore.jp

合同会社タッチコア

ホームページ：<https://touchcore.co.jp>

Facebook：<https://www.facebook.com/Touchcore.G.K>

X(Twitter)：<https://twitter.com/hlmgz5Jo2EpGTb>

